

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2002-104809 (P2002-104809A)

【公開日】平成 14 年 4 月 10 日 (2002.4.10)

【出願番号】特願 2000-299103 (P2000-299103)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 1 B 3/40

B 0 1 J 23/10

B 0 1 J 32/00

H 0 1 M 8/06

【F I】

C 0 1 B 3/40

B 0 1 J 23/10 M

B 0 1 J 32/00

H 0 1 M 8/06 G

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

$L a \cdot \text{---} - A l_2 O_3$ は $L a / A l = 3 / 97$ (モル / モル)

$P d = 3 g / \text{リットル} - \text{ハニカム}$

改質触媒 4 としては、コーゼライトハニカムに $A l_2 O_3$ をコーティングした担体に、 $R u$ を $A l_2 O_3$ の 1 重量 % 担持したものを用いた。原料ガスとしては、 $C H_4$ 、水蒸気、空気の混合ガスを供給した。原料ガスは、その組成が $H_2 O$ (モル) / $C H_4$ (モル) = 2.5、 O_2 (モル) / $C H_4$ (モル) = 0.6 のものを用いた。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 9】

このように、耐熱性を有しない担体を用いた燃焼触媒では、1 0 0 0 時間の運転で劣化による燃焼温度の低下が認められた。従って、さらに長時間の運転により、燃料電池に供給可能なガス組成を満足できなくなる。